記者発表資料

平成２７年１２月　１日
仙台河川国道事務所
栗　　原　　市

「国道４号築館（つきだて）バイパス」・「市道栗原（くりはら）中央線」
開通式典・開通時刻について

国土交通省が整備する「国道４号築館バイパス」及び栗原市が整備する「市道栗原中央線」の両事業が１２月１３日（日）に部分開通する旨、既にお知らせしておりましたが、下記のとおり**開通式典・開通時刻の詳細が決まりましたので、お知らせします。**

■開通式典

１．日　時：**平成27年12月13日(日）11:00～**（１時間程度）
２．場　所：栗原市志波姫堀口（築館バイパス開通区間内）
３．主　催：国土交通省仙台河川国道事務所・栗原市
４．次　第：別添のとおり
５．その他：報道関係者でお車でお越しの方は、築館バイパスと国道398号の交差点から今回開通する築館バイパス区間内に入って下さい（別添参照）。
※誘導員の指示に従って下さい

■開通時刻

開通式典終了後の**一般車両の通行開始時刻は15時**の予定です

なお、当日１０時３０分から、栗原市主催による開通記念イベントが、式典開催場所において執り行われます（獅子舞や和太鼓の演舞、地元の振る舞い鍋等の予定です）。

※報道関係の皆様には、開通式前に式典内容等の説明をさせて頂きますので、１０時３０分までに式典会場にお集まり頂きますようお願いいたします。

※一般の方もご来場できますが、駐車可能台数には限りがありますので、出来るだけ徒歩でご来場下さい。

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、古川記者クラブ＞

お問い合わせ先

○開通式及び築館バイパスに関すること
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
ＴＥＬ　０２２－２４８－４１３１
副　所　長　田口（たぐち）　和弘（かずひろ）（内線２０５）
交通対策課長　松本（まつもと）　章（あきら）（内線４７１）

○市道栗原中央線に関すること
栗原市役所　建設部
ＴＥＬ　０２２８－２２－１１５４
都市計画課長　佐藤（さとう）　千太郎（せんたろう）

別　添

一般国道４号築館バイパス・市道栗原中央線開通式

次　　第

１．開　　式

２．挨　　拶

３．来賓祝辞

４．来賓紹介

５．期待のメッセージ

６．テープカット、くす玉開き

７．パレード

８．閉　　式

【会場案内図】

別　添

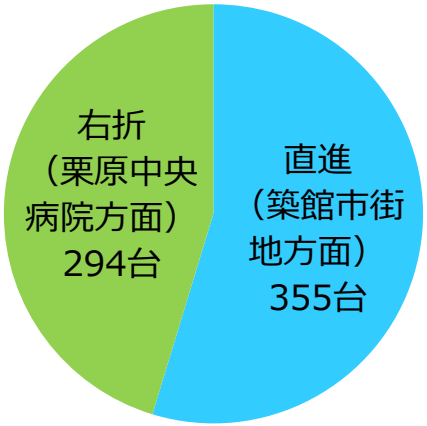

栗原市立志波姫小
398
くりこま高原
志波姫PA
市道栗原中央線
市道
今回開通
築館バイパス
今回開通
栗原市立栗原中央病院
築館警察署
開通式典会場
※国道398号線側から築館バイパスの
開通区間内に入って下さい
※市道栗原中央線側からは入れません
42
4
398
4
398
築館バイパス
176
4
栗原市役所
東北自動車道
栗原市立築館
中学校 職員室
栗原市立玉沢小
東北自動車道
36
4
築館
事業箇所

～栗原中央病院へのアクセス性向上～

◆栗原中央病院は1日あたり約400人の患者が来院しており、また、約320人の職員が通勤している。
◆若柳方面からのアクセス経路は、現状では、国道398号から市道を経由しており、その交差点では右折待ちの車両の滞留により混雑が発生（右折レーン、信号ともになし）
◆築館バイパス開通により、栗原市東部地区から栗原中央病院へのアクセス性向上とともに、南部地区からもバイパスを通じて直接アクセスでき、利便性が向上

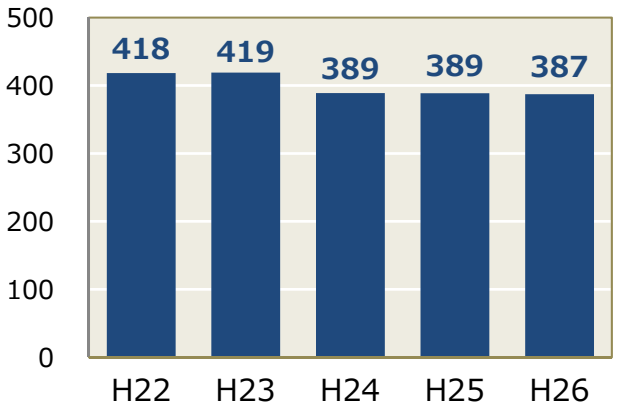


▼若柳方面からの方向別交通量



調査日：平成27年10月15日7時～9時

▼１日当たりの外来患者数



資料：栗原中央病院

▼国道398号から市道への右折状況



◆栗原中央病院の声

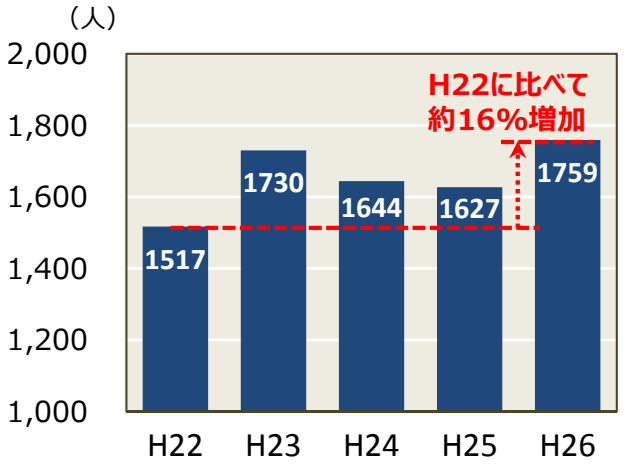
・若柳方面から病院へ向かう来院者や職員は国道398号から市道を利用している。その交差点には信号がなく、朝晩を中心に混雑している。
・築館バイパスが開通すれば、バイパスを利用して来ることが可能となり、混雑緩和が期待できる。

～救急搬送の効率化～

◆栗原中央病院は栗原市の中で二次救急を担う急性期病院である
◆栗原市南部地区からの救急搬送の際、築館市街地は信号交差点が多く、救急車の加減速により患者への負担が増大
◆築館バイパスは、時間短縮のみならず、信号交差点数が少ないことなどから救急搬送時の安定搬送に寄与

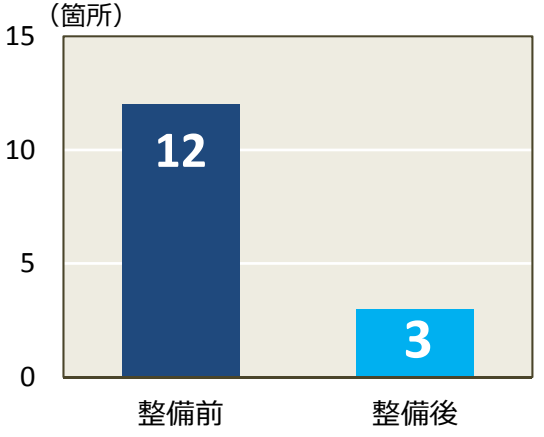


▼救急車受入件数

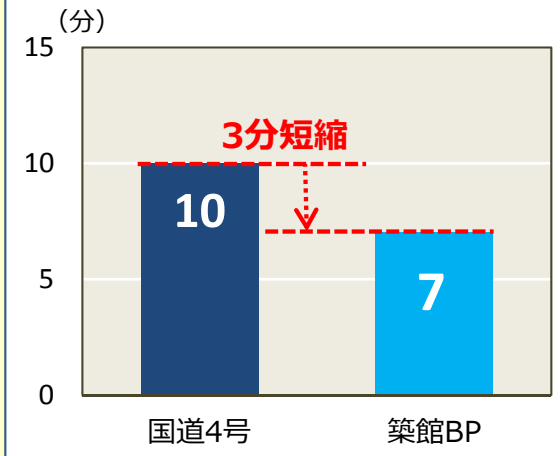


資料：栗原中央病院

▼信号交差点箇所数
（築館BP分岐～栗原中央病院間）



▼所要時間
（築館BP分岐～栗原中央病院間）



資料：プローブデータ
（H27.4～H27.6平日16時台）

◆栗原市消防本部の声

・国道4号の築館市街地の区間は信号交差点が多く、交差点を通過するたびに加減速をしなければならなく、患者への負担が大きい。
・特に国道398号との交差点では、交通量が多いため、通過する際は注意が必要である。
・築館バイパスは信号交差点が少ないため、栗原市南部地区からの搬送や栗原中央病院から大崎市民病院への転送搬送では、バイパスを利用することにより、加減速の回数が減り、患者への負担が軽減する。

～生活道路における安全性向上～

◆並行する国道4号は、栗原市の市街地内を通行することもあり、慢性的に混雑している
◆このため、通勤時間帯には国道４号の混雑を避けて、生活道路である北堀口地区の集落に車両が流入し、事故の危険性が増大
◆築館バイパス開通により、それらの車両が集落内を通行することなくバイパスへ転換が可能で、生活道路の安全性向上に寄与



国道4号は慢性的に混雑



▼通学時間帯における生活道路の交通状況



▼国道398号の歩道設置状況



◆志波姫小学校の声

・北堀口地区から20～30人の児童が自転車で通学している。
・北堀口地区内には、国道4号の渋滞を迂回する車が流入しており危険である。
・過去に2件、国道398号で児童の死亡事故が発生している。
・築館バイパスの開通によって、通学路の安全性が確保されることを期待している。

～産業の振興～

◆栗原市は東北自動車道と国道4号が南北に縦断しており、新幹線と合わせ、交通ネットワークが充実した地域
◆また、栗原市は、トヨタ自動車東日本㈱の大衡工場と岩手工場の中間に位置しており、自動車関連企業の立地が増加
◆栗原市内には分譲中の工業団地が4箇所あり、今後、築館バイパス開通による輸送効率化により、更なる企業誘致による雇用の増加、および地域経済の活性化に期待

▼栗原市内の工業団地



★：築館バイパス部分開通（2007年）以降に立地した企業

出典：栗原市

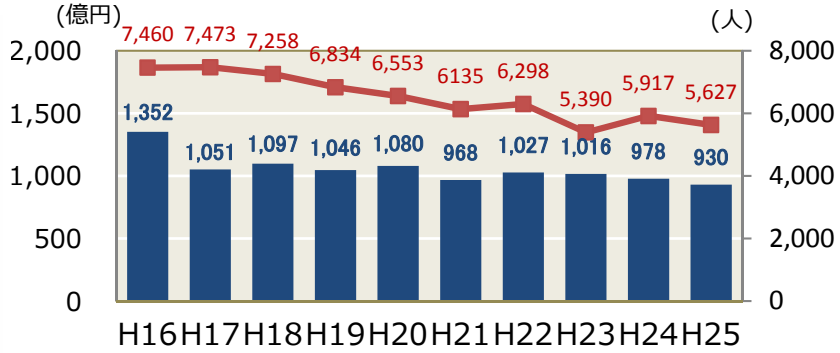
三峰工業団地



築館工業団地

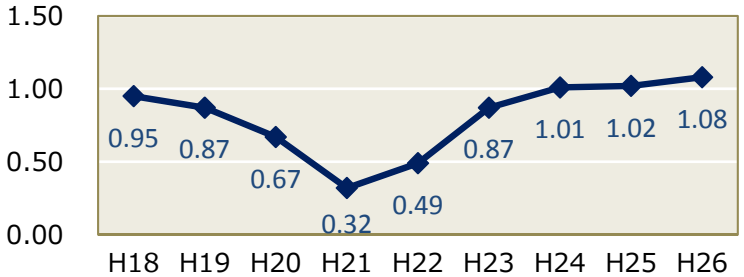


▼栗原市の製造品出荷額、従業員数の推移



資料：工業統計調査

▼有効求人倍率の推移（築館）



資料：宮城労働局

◆自動車関連企業の声

・2015年6月に操業開始し、現在従業員数は約80名（うち栗原市採用約5割）であり、今後、110名まで増員する予定。
・現在、製品はほとんどをトヨタ自動車東日本㈱大衡工場へ出荷しているが、今後岩手工場へも出荷する予定。
・築館バイパスが開通すると、岩手工場への輸送で築館バイパスを利用することになり、安定した供給が可能となると期待している。

◆栗原市産業戦略課の声

・栗原市はトヨタ自動車東日本㈱の大衡工場（大衡村）と岩手工場（金ヶ崎町）の中間にあり、近年、相次いで自動車関連企業が立地している。
・月1回、新聞の名古屋版に広告を掲載し、アクセスの良さをアピールしている。